

宗像市のゴミを減らす対策

7年3組5班

「宗像市の今の現状」

福岡県家庭全体のゴミの量は増えてきています。このゴミの量を減らすために宗像市はいろんなことに取り組んでいます。例えば、プラスチック製の使い捨てスプーンやホークの使用を減らしたり、余った食材はフードドライブにしたり、生ゴミは水切りをして処分かコンポストを使ったりします。このような対策をしていけば宗像市が少しずつきれいになっていきます。

「宗像市のゴミの量」

現状 分別収集量(不燃物・資源物)は、やや減少傾向にあります が、総排出量は横ばい傾向にあります。リサイクル率、資源化量は平成 24 年度までは横ばい傾向にありましたが、平成 25 年度は集団回収量の減少によりリサイクル率、資源化量ともに減少しており、リサイクル率は 28.0% です。

「ダンボールコンポストの作り方」 □

用意するもの

- 同じ形・大きさの段ボール2箱(15キログラムのみかん箱が作りやすい)
- 基材(ピートモス、もみ殻くん炭)

※ホームセンターなどで販売しています

- 段ボールの足、ブロックなど(段ボールの底の通気性を保つため) ● ゴム手袋、スコップなどかき混ぜる道具
- 棒状温度計(あれば便利です)

機材

基材は、ピートモスともみ殻くん炭を3対2の割合で45リットルのポリ袋に入れ、水を加えて、袋の口を固く閉じて振り混ぜます。基材を片手で握って、すぐに崩れず数秒固まるくらいの固さが目安です。基材と水の量(縦・横・高さが30～40センチ程度の段ボール箱に対する分量)ピートモス:12リットル、もみ殻くん炭:8リットル 水:3～4リットルくらい(適宜、調整してください)

生ゴミを入れる

生ごみを入れて、基材と一緒によく混ぜます。

※水分もある程度は必要なので乾燥させる必要はありません。しかし、水分が多すぎると生ごみが腐敗し、虫やにおいの原因になります。軽く水をきってから入れましょう。生ごみ投入量の目安(15キログラムのみかん箱と基材20リットルを使う場合)

- 1日500～600グラム程度。
- 生ごみを一度にたくさん入れすぎると、分解が追いつかず残ってしまい、虫の発生やにおいの原因になることがあるので注意しましょう。

管理方法について

温度管理(20度から60度)

微生物が生ごみを分解するためには、ある程度の温度が必要です。気温の低い冬の時期は分解がすすみにくくなりますが、失敗ではありません！ 1回に入れる生ごみの量を少なめにしたり、ぬかや食用油、湯たんぽ代わりにお湯を入れたペットボトルを入れるなどして、温度を上げる工夫してみましょう。

熟成させる

スタートしてから3か月ほどたって基材がべたついてきたら、微生物の生ごみの投入を終了し、熟成させましょう。最後に入れた生ごみが完全に分解されるまでには1か月程度かかります。生ごみを入れた最後の日から10日間は、かき混ぜる作業を続けてください。